

タイトル「2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)」、フォルダ「大学院危機管理学研究科」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	危機管理学研究演習Ⅱ		
担当教員	中林 啓修		
対象学年	1年,2年	開講学期	後期
曜日・時限	時間外		
講義室		単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	—		
科目中分類	修士		
科目小分類	統合・演習		
科目の位置付け(開発能力)	<p>■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP2(学識・専門技能):40% 災害,テロ,国際紛争等,複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための,法学,政治学,国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能 DP3(思考力・判断力・表現力):60% 客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力</p>		
教員の実務経験	担当教員は、独立系シンクタンクや、沖縄県庁などに勤務する中で、さまざまな研究調査の企画や資金獲得のための計画書作成などを行ってきた。本講義では、それらの経験を活かし、受講生が個人で研究調査を立案し、具体的な研究計画を作成できるよう指導していく(2-15回)		
成績ターゲット区分	—		
科目概要・キーワード	<p>危機管理学とその基礎となる法学に関する研究活動を実践するために、必要な社会科学的研究手法を学び、学生が自らテーマを設定し、論文を執筆し、成果を発表するための指導を行う。本演習では、危機管理学、法学に関する研究手法の修得、テーマの探求、先行研究の評価、資料の収集とテキスト分析を含む基礎的研究プロセスを扱う。これらの研究プロセスを通じて、学識・専門技能に加え、判断力・思考力・表現力、更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とする。 授業形態は演習形式により行う。なお、対応するコンピテンシに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合がある。 ■キーワード：危機管理、武力攻撃事態、緊急処理事態、広域避難、ポスト避難</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 危機対応の高度化にむけた研究の推進 ■授業の目的 研究手法の修得、テーマの探求、先行研究の評価、資料の収集とテキスト分析を含む基礎的研究プロセスを通じて、学識・専門技能に加え、判断力・思考力・表現力、更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とする。 ■授業のポイント 2年間しかない修士課程の中で、着実に研究上の目標を達成できるように、2週間に1回程度の受講生自身による研究発表とグループ討議、教員からのフィードバックを通じて、着実に研究を推進していく。1回あたりの進捗の多寡にこだわりすぎず、継続的な調査研究を行う基準点として授業を位置付けていく。</p>		
総合到達目標	修士論文執筆に向けて、着実に研究を推進し、修士論文の構成案を作成する。これらの過程で必要であれば、研究計画の変更や修正も行う。		
成績評価方法	<p>■授業参加度(15回)80% DP2; DP3 (評価の観点)学術的な姿勢を評価します。 (フィードバックの方法)演習中、必要に応じてコメントします。 ■実技・パフォーマンス(15回)20% DP2; DP3 (評価の観点)学術研究としての水準、プレゼンテーションの技術、研究資料の完成度を評価します。 (フィードバックの方法)プレゼンテーションに引き続き、講評を行います。</p>		
履修条件	特にありません。		
履修上の注意点	就職活動や進学準備など、2年間という短い修士課程の中で無理なく修士論文を仕上げるのが目標です。その間に、できるだけ学会発表なども経験してもらえればと考えています。そうした趣旨の授業ですので、積極的な授業参加を期待しています。		
授業内容	回	内容	
	1	<p>①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 講義スケジュールの説明や授業構成、今期の目標および成績の考え方など授業のガイダンスを行う。 ③予習(60分) シラバス全体をよく読み、研究の進め方についてイメージを持っておく。 ④復習(60分) 講義資料を確認し、自分のテーマについての研究の進め方について再度イメージしておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>	
	2	<p>①授業テーマ 研究進捗の共有その1 ②授業概要 2回ほどに分けて、受講生が進めてる研究の進捗状況について発表し、学期中の研究方針を検討する。 ③予習(120分) 夏季休暇中の研究の進捗状況について発表準備をしておく。 ④復習(120分) 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究テーマについての検討を深める。発表対象でなかった受講生は自身の発表に向けて授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>	

3	<p>①授業テーマ 研究進捗の共有その1(2)</p> <p>②授業概要 2回ほどに分けて、受講生が進めてる研究の進捗状況について発表し、学期中の研究方針を検討する。</p> <p>③予習(120分) 夏季休暇中の研究の進捗状況について発表準備をしておく。</p> <p>④復習(120分) 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究テーマについての検討を深める。発表対象でなかった受講生は自身の発表に向けて、授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
4	<p>①授業テーマ 研究進捗の共有その2</p> <p>②授業概要 2回ほどに分けて、受講生が進めてる研究の進捗状況について発表し、研究を確実に推進する。</p> <p>③予習(120分) 各自の研究を進め、発表準備をしておく。</p> <p>④復習(120分) 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究テーマについての検討を深める。発表対象でなかった受講生は自身の発表に向けて授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
5	<p>①授業テーマ 研究進捗の共有その2(2)</p> <p>②授業概要 2回ほどに分けて、受講生が進めてる研究の進捗状況について発表し、研究を確実に推進する。</p> <p>③予習(120分) 各自の研究を進め、発表準備をしておく。</p> <p>④復習(120分) 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究テーマについての検討を深める。発表対象でなかった受講生は自身の発表に向けて授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
6	<p>①授業テーマ 研究進捗の共有その3</p> <p>②授業概要 2回ほどに分けて、受講生が進めてる研究の進捗状況について発表し、研究を確実に推進する。</p> <p>③予習(120分) 各自の研究を進め、発表準備をしておく。</p> <p>④復習(120分) 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究テーマについての検討を深める。発表対象でなかった受講生は自身の発表に向けて授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
7	<p>①授業テーマ 研究進捗の共有その3(2)</p> <p>②授業概要 2回ほどに分けて、受講生が進めてる研究の進捗状況について発表し、研究を確実に推進する。</p> <p>③予習(120分) 各自の研究を進め、発表準備をしておく。</p> <p>④復習(120分) 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究テーマについての検討を深める。発表対象でなかった受講生は自身の発表に向けて授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
8	<p>①授業テーマ これまでの研究成果の整理その1</p> <p>②授業概要 4回(一人2回)程度の報告を通じて、ここまでの研究成果を整理して学会発表形式で報告をまとめる。2ページ程度の梗概論文と報告資料をまとめる。災害情報学会や地域安全学会などの学会が開催する年度末または次年度当初の研究報告会で発表できる水準の成果を目指す(発表を義務付けるものではない)。</p> <p>③予習(120分) これまでの研究成果を取りまとめ、発表準備をしておく。</p> <p>④復習(120分) 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究テーマについての検討を深める。発表対象でなかった受講生は自身の発表に向けて授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
9	<p>①授業テーマ これまでの研究成果の整理その1(2)</p> <p>②授業概要 4回(一人2回)程度の報告を通じて、ここまでの研究成果を整理して学会発表形式で報告をまとめる。2ページ程度の梗概論文と報告資料をまとめる。災害情報学会や地域安全学会などの学会が開催する年度末または次年度当初の研究報告会で発表できる水準の成果を目指す(発表を義務付けるものではない)。</p> <p>③予習(120分) これまでの研究成果を取りまとめ、発表準備をしておく。</p> <p>④復習(120分) 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究テーマについての検討を深める。発表対象でなかった受講生は自身の発表に向けて授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
10	<p>①授業テーマ これまでの研究成果の整理その2</p> <p>②授業概要 4回(一人2回)程度の報告を通じて、ここまでの研究成果を整理して学会発表形式で報告をまとめる。2ページ程度の梗概論文と報告資料をまとめる。災害情報学会や地域安全学会などの学会が開催する年度末または次年度当初の研究報告会で発表できる水準の成果を目指す(発表を義務付けるものではない)。</p> <p>③予習(120分) これまでの研究成果を取りまとめ、発表準備をしておく。</p> <p>④復習(120分) 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究テーマについての検討を深める。発表対象でなかった受講生は自身の発表に向けて授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
11	<p>①授業テーマ これまでの研究成果の整理その2(2)</p> <p>②授業概要 4回(一人2回)程度の報告を通じて、ここまでの研究成果を整理して学会発表形式で報告をまとめる。2ページ程度の梗概論文と報告資料をまとめる。災害情報学会や地域安全学会などの学会が開催する年度末または次年度当初の研究報告会で発表できる水準の成果を目指す(発表を義務付けるものではない)。11回は10回と合同で実施する可能性がある。</p> <p>③予習(120分) これまでの研究成果を取りまとめ、発表準備をしておく。</p> <p>④復習(120分) 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究テーマについての検討を深める。発表対象でなかった受講生は自身の発表に向けて授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
12	<p>①授業テーマ 修士論文構成の検討</p> <p>②授業概要 これまでの研究の進捗を踏まえ、修士論文の構成案を作成し、2回ほどに分けて発表する。12回は13回と合同で実施する可能性がある。</p> <p>③予習(120分) れまでの研究の進捗を踏まえ、修士論文の構成案を作成し、発表を準備する。</p> <p>④復習(120分) 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて論文構成や必要な場合は研究計画を修正していく。発表対象でなかった受講生は自身の発表に向けて、授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
13	<p>①授業テーマ 修士論文構成の検討(2)</p> <p>②授業概要 これまでの研究の進捗を踏まえ、修士論文の構成案を作成し、2回ほどに分けて発表する。</p> <p>③予習(120分) れまでの研究の進捗を踏まえ、修士論文の構成案を作成し、発表を準備する。</p> <p>④復習(120分) 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて論文構成や必要な場合は研究計画を修正していく。発表対象でなかった受講生は自身の発表に向けて、授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
14	<p>①授業テーマ 修士論文構成案の決定</p> <p>②授業概要 12-13回での検討を踏まえ、た修士論文構成案を確定させる。その上で、研究計画に必要な修正を行い、それらの内容について全員で発表する。</p>

	③予習（120分）12-13回で行った報告を踏まえて修士論文構成案と研究計画を修正し、発表の準備をする。 ④復習（120分）フロアからのフィードバックを踏まえて研究計画の最終修正を行う。
15	① まとめ ② 授業全体を振り返り、秋以降の研究方針について再確認する。
関連科目	R5MR0029危機管理学研究演習Ⅰ、R5MR0031危機管理学研究演習Ⅲ、R5MR0032危機管理学研究演習Ⅳ
教科書	特に用いない。各自の研究発表の機会などに必要と思われる文献などを指定する。
参考書・参考URL	特に指定しない。各自の研究発表の機会などに必要と思われる文献などを指定する。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：開講時に告知する ■オフィスアワー：開講時に告知する
研究比率	

